

公表:2025年3月25日

事業所名 児童デイサービスコンチェルト・コンチェルト第2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改 善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	12	1			
	②	職員の配置数は適切であるか	5	7	1		もっと専門職員が欲しいところですが、「マンツーマンを基準」という基準以上の人数と資格保有者を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	6			階段は急ですが、手すりを持って、親や支援者とともに、昇降の練習もしてもらいます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	2			職員の学習会などで説明しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	1			毎年書いていただき、HPにも掲載して良い方向を考えています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	1	1		HPに毎年掲載しています。今回も掲載しますので見て欲しいです。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	2	1		地域の方々も入って役員会や委員会を行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	1	1		毎年、法律改正や支援の専門性など、3回ほど研修会を行っています。参加してください。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	2			毎週の活動プログラムは、リーダー会議で決めますが、長期休みのプログラムは全員でスタッフ会議を通して行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	2			毎週の活動プログラムは、リーダー会議で決めますが、長期休みのプログラムは全員でスタッフ会議を通して行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	1	1		長期休みには、「特別プログラム」を用意し、普段でにくい点も支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	1			全員の児童について、担当者と児童発達支援管理責任者と管理者とで計画を練って親にも提示し実行しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1			1日2回ずつ、朝と午後、打ち合わせを全員で行っています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	2	2		全員で振り返りの時間は取っていませんが、記録を記載してもらっています。児童の様子等を元に次の方向なども考えています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	1			児童記録を書いてもらっていますが、丁寧に、目標と照らし合わせて、次の方向なども考えています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	2			次の計画前には、必ずモニタリングも作成してからその後を考えています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	11	2			毎週の活動プログラムは、リーダー会議で決めますが、長期休みのプログラムは全員で練り上げて行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	12	1			情報確認が必要な子どもに関しては、支援者会議や電話連絡などで行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	5			医療的ケア児だけではなく、必要に応じて、病院スタッフとの会議や文書による情報交換を行うことがあります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	11	2			全幼児の保育園や幼稚園訪問は毎年行っており、園での様子を観るとともに会議も行い情報交流を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	2			法人内に「相談室リズム」があるので、情報を共有しやすいが、他の事業所や相談室へも必要に応じて情報を伝えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	1	1		必要に応じて親達にも紹介している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	5			
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	11	2			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10	3			

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12		1		通う場合には、最初に必ず丁寧に管理者が説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11	1	1		コロナ禍で一旦休止したが、少しずつ開始してきた。2025年度は研修会や保護者会も元通りに支援していきたいと考えている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1	1		連絡帳や電話やメールなどでの連絡体制はあるが、これまで苦情はなかった。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1			
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	13				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	3			
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11		2		事務室に掲示し、感染症に関しても体温測定やマスクなど職員に周知しているが状況の変化への対応等、スタッフ会議等で説明している。時間を取って出て欲しい。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	2	1		非常時の避難等、子どもたちにも毎年春プロで説明し訓練している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	2			職員の研修を毎年行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	4			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13				
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	3			事例集を作成しており、棚に置いてあるので、みて欲しい。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。集計してみて、内容的に反省という ことより、「新しい短時間職員には周知されていないことが多い」ことが解り、今年度の目標としたい。